

身体活動増進を介して 子どもの事故を減らす学校環境デザイン

体力テストの成績 30年前より低下（ほぼ全項目）

骨折する子供 40年前の2.5倍、肥満傾向児 30年前の1.5倍



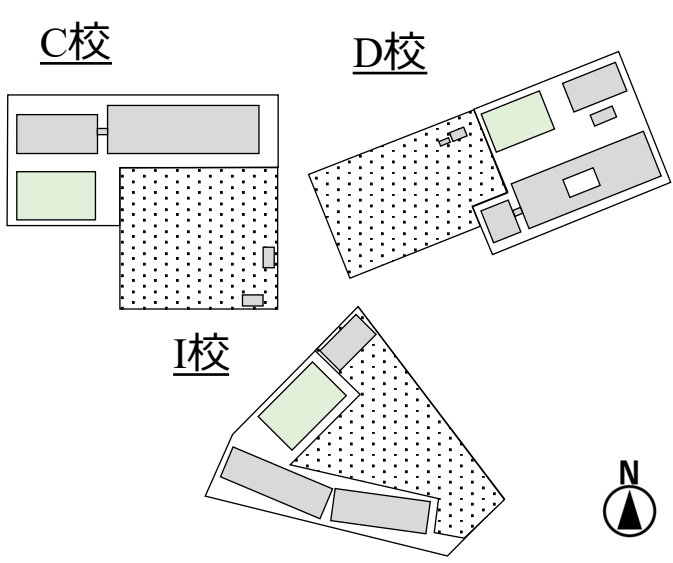
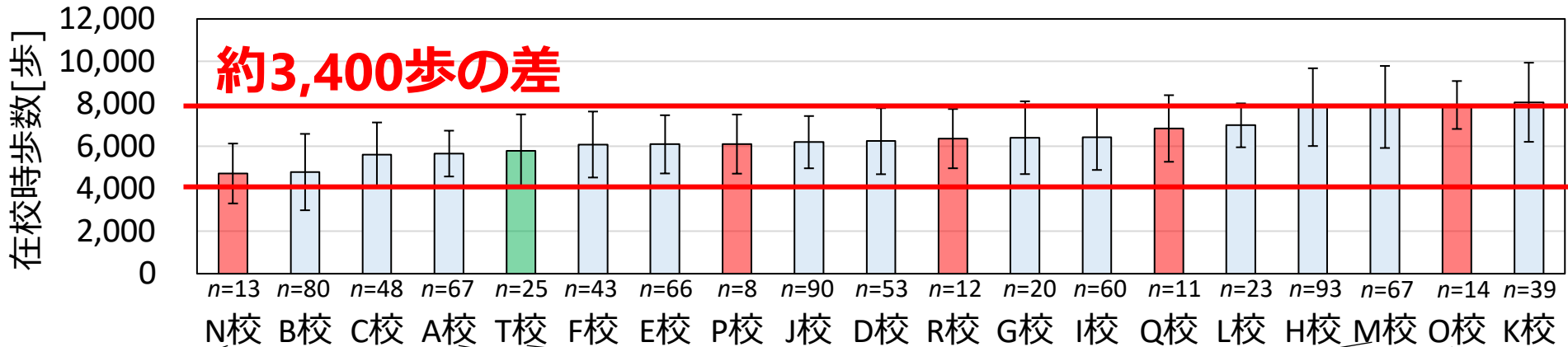
伊香賀俊治 慶應義塾大学 理工学部 教授

日本学術会議 連携会員／子どもの成育環境分科会 委員

文科省 国立教育政策研究所 児童生徒の安全・安心と学習空間に関する調査研究 委員

文科省 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 副主査

小学校によって在校時歩数に大きな差



3教育委員会の19小学校の5年生1,413人
2015年度～2021年度の秋季(10月～11月)の2週間測定



身体活動量計
HJ326F/HJA-750C(OMRON)



学校施設計画と外遊び制限緩和で活動量増

幼稚園環境

芝生 **1,400歩**

幼稚園で活発な遊び **1,319歩**

1人あたりの校庭面積
(10m²/人) **191~602歩**

都市部 **+438歩**

芝生 **1,196~1,272歩**

男児 **+375歩**

小学校環境



体力向上



学力向上



地域環境

歩数が**1,700歩**多いオッズ

地域活動参加 **1.6倍**

地域施設利用 **1.5倍**

居間の足元の冷え **1.7倍**

住宅環境

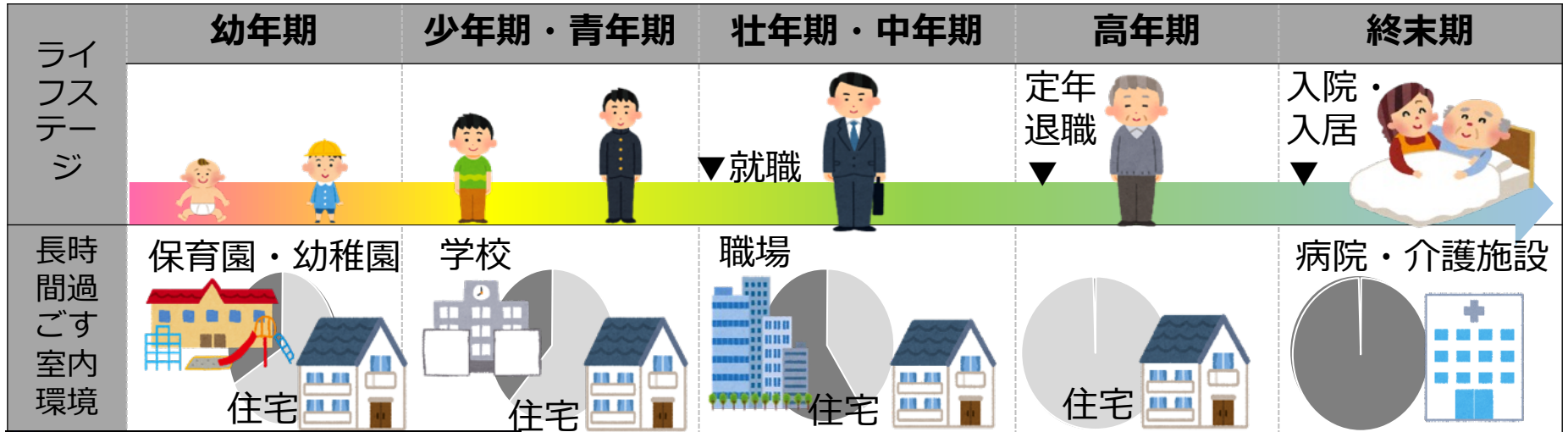
児童の在校時歩数[歩]のマルチレベル分析 n=749

説明変数			推定値(95%信頼区間)			
			Model.1		Model.2	
個人 レベル	性別	男児[ref.女児]	1,255.9***	(1,048.8~1,463.0)	1,261.3***	(1,054.1~1,468.4)
	運動系習い事	あり[ref.なし]	349.4**	(128.1~570.8)	349.6**	(128.0~571.2)
学校 レベル	校庭面積	[10m ² /人]	601.6**	(209.6~993.5)	-	-
	芝生	あり[ref.なし]	1,195.5**	(402.1~1,988.8)	-	-
	校庭形状	長方形[ref.変型]	502.3	(-233.9~1,238.6)	-	-
	校庭アクセス ^{※2}	近い[ref.遠い]			-316.5	(-1,185.7~552.8)
	遊びの制限	なし[ref.あり]			1,274.4**	(330.2~2,218.5)

遊びの制限がない
小学校の児童は
1,274歩多くなる



子ども期の身体活動は将来の傷病に影響



身体活動増進を介して
子どもの事故を減らす学校環境デザイン
ご静聴ありがとうございました

